

2240 | 博物館資料保存論

2 単位（通信授業 2 単位）

金子伸二教授、神庭信幸講師

授業の概要と目標

博物館において資料を保存することの意義と保存の歴史、文化財保存の理念、保存を支える関係要素を理解したうえで、資料の材質・形状・状態に合わせた調査・保存・修理方法、資料の劣化因子と保存のための環境整備の重要性を認識し、あわせて展示・梱包・輸送など博物館活動に伴う資料の扱いと保存との関係などへの考察を通して、博物館における資料保存のための基礎的知識を、美術工芸、考古、民俗資料を中心として学ぶ。

課題の概要

[通信授業課題 1、2]

教材による学習の後、博物館における資料の保存と公開の取り組みに関する事例研究、資料の劣化につながる保存環境因子についての調査報告の2点の学修報告書を課し、個々に添削指導を行う。

授業計画

[通信授業]

- ・(教材による学習) 博物館における資料保存の意義(文化財資料に求めるもの/保全をおびやかすリスクとは/臨床的保存の必要性/職業倫理/資料保存を支える専門家)、環境と資料の状態診断(資料の保存公開と環境の関係/環境をモニタリングして状態を評価する/資料の調査診断と記録)、環境と予防保存(環境を改善して資料を保全する/博物館資料を安全に輸送する/保存箱で安全な環境をつくる)、劣化と修理保存(修理を行う前に状態を調査する/対症修理と本格修理の役割/修理報告書を作成する/本格修理の事例)、教育と普及(保存活動の公開/保存教育)、環境保護と博物館の役割(低炭素社会との共存/自然災害への対応/環境と調和する資料保存)
- ・(学修報告と添削指導) 博物館における資料の保存公開活動の事例研究/資料劣化につながる環境因子についての調査報告

成績評価の方法

通信授業課題をもとに評価する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3～4年次

[履修条件] 「デザインリサーチⅠ・Ⅱ」の単位を修得していること(芸術文化学科各コース3年次編入学生を除く)。

[備考] 芸術文化学科各コース3～4年次選択科目。

芸術文化学科以外の学芸員課程履修者(改正後の学芸員課程[新課程]履修者)は、「デザインリサーチⅠ・Ⅱ」の単位修得が無くても履修できる。

教材等

教科書：神庭信幸著『博物館資料の臨床保存学』（武蔵野美術大学出版局 2014年）

学習指導書：『博物館資料保存論 平成29年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）

その他

学芸員課程履修者(改正後の学芸員課程[新課程]履修者)は、この授業科目は「博物館に関する科目」として取り扱われる。